令和8年度 全国学力・学習状況調査

本校の調査結果の概要

【本年度の調査の概要】

目　　的　　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

調査対象　　中学校第３学年

調査内容　　●教科に関する調査（国語、数学、外国語）
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
②知識、技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など
●生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

調査日時　　令和８年4月22日（水）、５月11日(月)

留意事項　　本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である。
平均正答数、平均正答率のみでは必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、他の情報とあわせて総合的に結果を分析、評価することが必要である。また、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

令和８年11月

札幌市立明園中学校

【生徒質問調査】から

□肯定的な回答が 80%以上のもの（差は、全国平均と比較したものである。）

質　問　事　項	本校	差
朝食を毎日食べている。	84.4	-6.5
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	86.5	-5.9
自分には、よいところがあると思う。	84.4	0.4
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	92.7	1.8
人が困っているときは、進んで助けている。	89.6	-1.2
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	**94.8**	-0.3
人の役に立つ人間になりたいと思う。	**94.8**	-1.1
学校に行くのは楽しいと思いますか	81.3	-4.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	90.6	-0.4
自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思う。	90.7	5.9
自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思う。	**96.9**	6.0
自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思う。	91.7	**11.7**
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	86.5	1.3
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	92.7	0.3
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	90.6	**9.8**
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	91.6	**9.9**
学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	87.5	3.0
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	91.7	0.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	93.7	5.5
１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	80.2	7.2
１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	85.4	**13.6**
１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか	88.5	3.7
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.6	**13.1**
１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか	**94.8**	**9.7**
１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	80.2	-2.6

■肯定的な回答が 50%未満のもの（差は、全国平均と比較したものである。）

質　問　事　項	本校	差
新聞を読んでいる。	2.1	-4.1
国語の勉強は得意ですか	36.5	-15.1
国語の勉強は好きですか	48.9	-8.3
英語の勉強は得意ですか	43.7	4.2
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	30.2	-3.9
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか	34.4	-2.2

○本校生徒の生活実態(%)

平日の家庭学習時間 （塾、家庭教師等を含む）	3 時間以上	2～3 時間	1～2 時間	0.5～1 時間	30 分未満	しない	
	2. 1	22. 9	21. 9	15. 6	17. 7	18. 8	本校
	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9	全国
休日の家庭学習時間 （塾、家庭教師等を含む）	4 時間以上	3～4 時間	2～3 時間	1～2 時間	1 時間未満	しない	
	3.1	6.3	12.5	12.5	25.0	24.0	本校
	5.1	8.0	16.8	22.6	21.4	13.4	全国
１日当たりどのくらいの時間、スマホやタブレットを勉強のために使うか (平日)	3 時間以上	2～3 時間	1～2 時間	0.5～1 時間	30 分未満	使わない	
	1.0	4.2	4.2	14.6	37.5	25.0	本校
	1.7	2.6	7.7	18.0	32.4	26.0	全国

○質問用紙の結果から、いじめは良くないことであることへの理解、役に立つ人になりたいという生活面や、より良い人間関係づくりに対する意識の高さが見られます。また、情報収集やまとめ、発表などについても得意に感じている生徒が多く、情報リテラシーへの関心の高まりがあると考えられます。

○国語に対する学習の意義は理解しつつも、苦手意識が強い生徒が多く見られました。英語を得意と感じる生徒は、全体としては多くはありませんが、全国平均と比べると比較的多いことがわかりました。

○家庭学習の時間は、平日・休日ともに全国平均と比べると少ない生徒がやや多いことがわかりました。

○今後もご家庭と連携を深めつつ、授業改善を図ることで学ぶ力を向上させていけるよう、取り組んで参ります。

【国語】

本校の概要	今回調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の内容と領域】 ◆知識及び技能 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回る。 ◆思考力，判断力，表現力等 □「話すこと･聞くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 □「書くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。 □「読むこと」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。	●事象や行為を表す語句について理解すること。 ●資料や情報機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 ●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。 ●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。	○新しく出合った言葉について調べたことを記録したり、その語句を話や文章の中で使ったりする活動の充実。 ○情報機器を活用した資料の提示方法と及ぼす効果について比較し、伝達内容に応じて方法を選択する活動の充実。 ○伝えようとすることが伝わるかどうか、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けや語句の選び方・使い方が適切かどうかを確かめながら自分の書いた文章を見直す活動の充実。 ○表現の効果について、自分の考えを支える根拠を挙げながら自分の考えを書いたり発表したりする活動の充実。

それぞれの領域ごとに本校の平均正答率と全国平均を比較し、その結果を５段階で表している。
・＋3.1 ポイント以上⇒「全国平均を上回っている」
・＋3.0 ポイントの範囲内で全国平均を上回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る」
・全国平均と同じ⇒「全国平均とほぼ同程度である」
・－3.0 ポイントの範囲内で全国平均を下回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る」
・－3.1 ポイント以下⇒「全国平均を下回っている」

【中学校数学】

本校の概要	課題	改善の方向
【領域】 □「数と式」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □ 「図形」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □「関数」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、下回っている。 □「データの活用」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる。 ●図形の合同を筋道を立てて考え、証明することができる。 ●反比例や１次関数など、２つの数量の変化の様子を的確にとらえたり、説明することができる。 ●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる。	○問題解決で、事柄の特徴を文字を用いて説明することができる学習活動の充実。 ○具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができ、図形についての理解を深める学習活動の充実。 ○比例・反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を相互に関連付けて理解できるようにするとともに、日常の場面に活用したり、関数となる根拠を説明したりする学習活動の充実。 ○社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、目的に応じて必要なデータを収集して処理し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断する学習活動の充実。

それぞれの領域ごとに本校の平均正答率と全国平均を比較し、その結果を５段階で表している。

・＋3.1 ポイント以上⇒「全国平均を上回っている」
・＋3.0 ポイントの範囲内で全国平均を上回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る」
・全国平均と同じ⇒「全国平均とほぼ同程度である」
・－3.0 ポイントの範囲内で全国平均を下回る⇒「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る」
・－3.1 ポイント以下⇒「全国平均を下回っている」

【中学校英語】

本校の概要	今回調査における課題	改善の方向
【英語４技能　調査結果】 ◆聞くこと ・全国平均とほぼ同程度であるが，やや上回る。 ◆読むこと・書くこと ・全国平均とほぼ同程度であるが，やや上回る。 ◆話すこと ・全国平均とほぼ同程度であるが，やや上回る。 ※IRT スコア ・全国 499 に対し、本校 520 で上回る。	●物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を読み取る。 ●インターネットの使用に関して読んだことについて、自分の考えとその理由を書く。 ●自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を取り上げ、その理由を話す。 ●学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて考えと理由を話す。	○日常的な話題について、登場人物の心情やその変化を示す語句に着目し、物語全体の流れや要旨を読み取る学習活動の充実。 ○社会的な話題について、目的や場面、状況等に応じて必要な情報や、何が自分にとって必要な情報であるのかを判断した上で読み取り、賛否や自分の意見、その理由や根拠の関係を明確しながら内容を整理して書く学習活動の充実。 ○日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理した上で、その内容に関する賛否や自分の意見、その理由や根拠の関係を明確にしながら内容を整理して話す学習活動の充実。 ○社会的な話題について、聞いたことの内容を整理した上で、その内容に関する賛否や自分の意見、その理由や根拠の関係を明確にしながら内容を整理して話す学習活動の充実。